

献血セミナー & 救急救命

乙訓高等学校ではスポーツ健康科学科を中心として高校と大学が連携した高大連携授業、企業の研究者の方をお招きして講演会を行う産学連携授業を展開しています。

平成30年11月13日（火）対象：スポーツ健康科学科1年生

「献血セミナー・救急救命」

京都府赤十字血液センター 木内清孝 先生・新井清久 先生・須上敦史 先生

皆さんは献血された血液は事故などのケガに対してほとんどが使われていると思いませんか？ 献血された血液の約97%が病気に対する治療のために使われています。

人工血液の研究が進んできていますが、現在はまだ血液をつくることができないため、献血に頼らざるをえません。

血液を必要としている人が増える一方、献血をする人が減ってきています。1人1人の献血が多くの人を幸せにしていることを再確認した授業でした。

授業の後半は心肺蘇生法を中心とした救急救命の実習を行いました。



